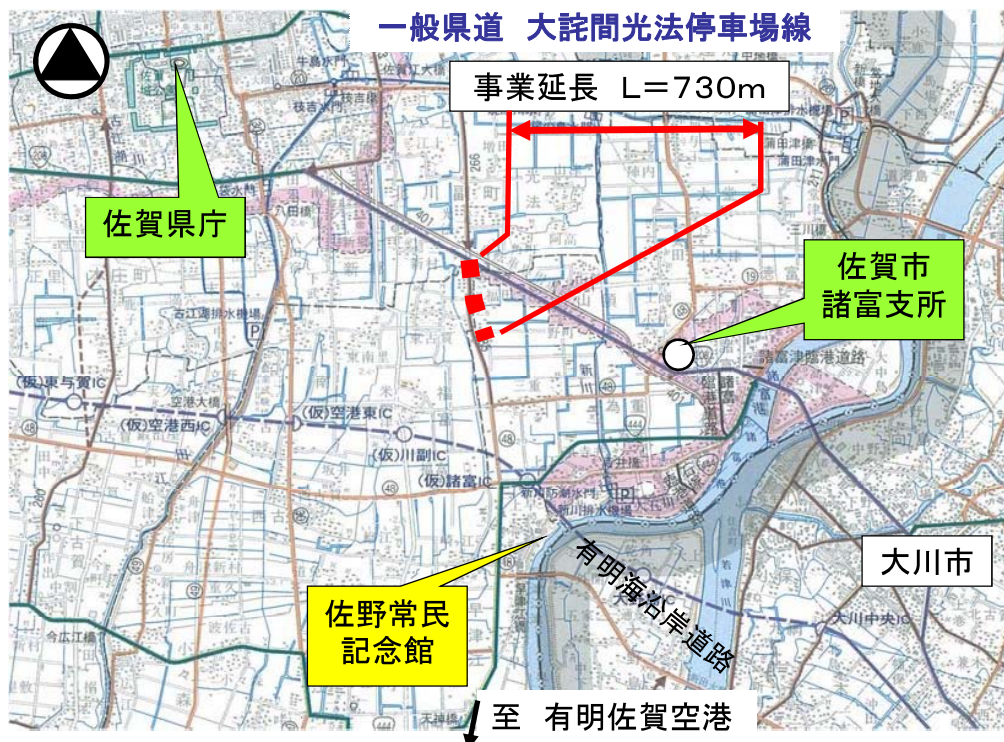


# 平成25年度 再評価委員会

路線名：一般県道 大詫間光法停車場線  
事業名：防災・安全交付金事業

(再評価実施後5年経過のため再評価)

## 一般県道 大詫間光法停車場線 位置図



# 事業目的

佐賀市川副町大詫間  
有明海沿岸道路 諸富IC



佐賀市市街地

交流を支えるために重要な道路  
観光に資する道路

しかし、現道は・・・

幅員が狭いことから、車や自転車歩行者の通行に支障

よって、改良により

交通の円滑化と交通安全を確保  
生活圏間の交流を支え、観光振興に寄与する

## 現道状況

未整備箇所は、幅員狭小で歩行者が危険にさらされている。



未整備箇所は、幅員狭小で歩行者が危険にさらされている。



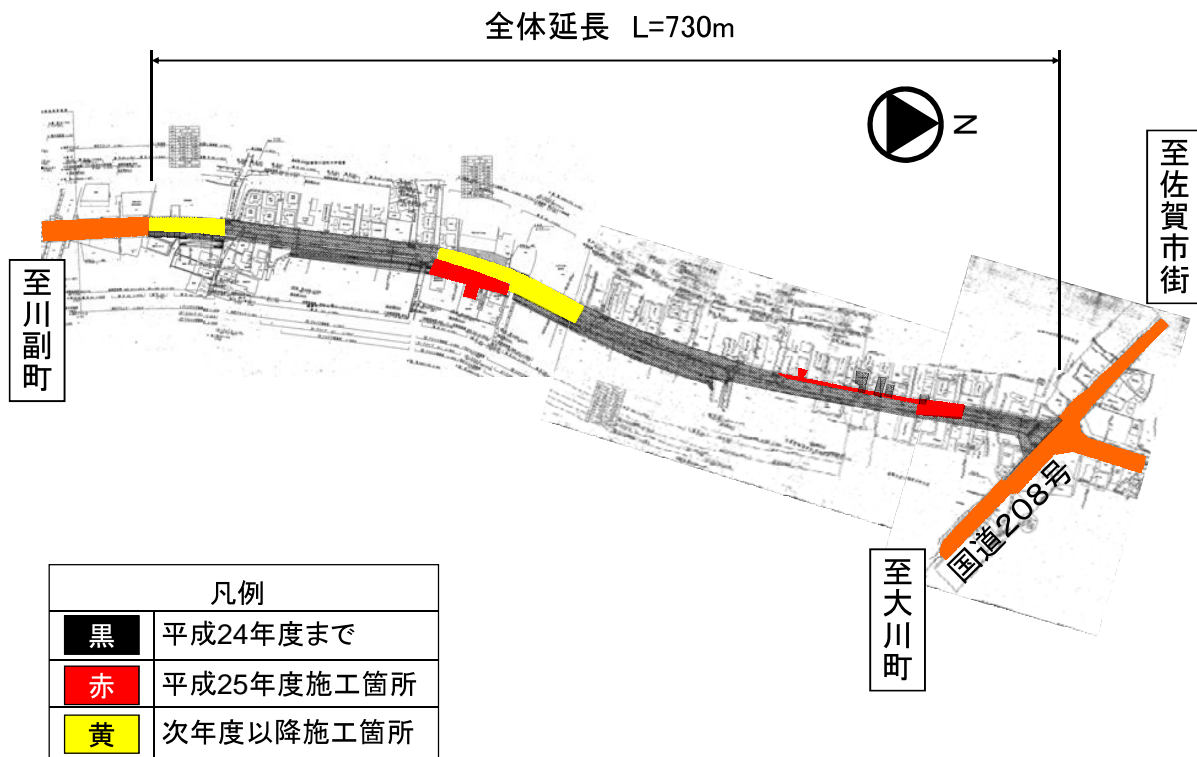
# 事業概要

- 全体事業費: 18.4億円
- 工期: 平成7年度～平成28年度(予定)
- 全体延長: L=730m
- 事業内容: 改良工 L=730m
  - 函渠工 2箇所
  - 用地買収 6,246㎡
  - 物件補償 21戸

# 事業の進捗状況

	平成24年度まで	平成25年度	平成26年度以降
事業費(億円)	15.5	1.4	1.5
進捗率(%)	84.2	91.6	100.0
用地進捗率(%)	96.0	100.0	100.0

## 一般県道 大詫間光法停車場線 平面図



# 平成25年 現地状況



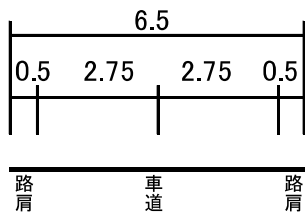
中間から起点側を望む  
(改良済区間)



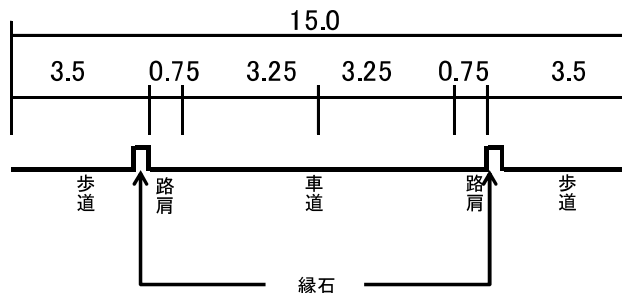
中間から終点側を望む  
(未改良区間)

## 一般県道 大詫間光法停車場線 横断図

現況



計画



## 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 交通量の増加  
平成11年度 6,712台/日  
平成17年度 7,175台/日  
平成22年度 7,592台/日
- 有明海沿岸道路の諸富IC(仮称)～大川中央IC間が供用されれば、さらなる交通量の増大が予想される。

## 費用対効果の要因の変化

- 事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。

$$\text{費用便益比(B/C)} = 31.1 / 22.3 = 1.4$$

### • 【便益】

走行時間短縮便益	=	29.1億円
走行経費縮小便益	=	2.0億円
交通事故減少便益	=	0.0億円
合計		31.1億円

### • 【費用】

事業費	=	21.8億円
維持管理費	=	0.5億円
合計		22.3億円

# コスト縮減や代替案等の可能性

## (コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図っている。
- 工事で発生する残土を盛土等に流用する。

## (代替案の検討)

- 特になし

# 対応方針(事業課案)

- 事業の必要性に変化が無い。
- 依然として危険な状況が解消されておらず、交通の円滑化と交通安全の確保を図るため、事業を継続したい。